

3月1日	福島県の森林における土壌等に含まれる放射性セシウムの濃度の測定結果について
3月2日	平成24年第6回「みどりの学術賞」受賞者の決定について
3月2日	「第10回 聞き書き甲子園フォーラム」の開催について
3月16日	「林政審議会」の開催及び一般傍聴について
3月23日	「森林関係の地球温暖化対策を考える会」の開催及び一般傍聴について
3月27日	木質ペレット及びストーブ燃焼灰の放射性セシウムの濃度の調査結果(中間報告)について
3月28日	東日本大震災について～きのご原木、菌床用培地等の当面の指標値設定に関するご質問と回答について～
3月28日	きのご原木及び菌床用培地の当面の指標値の改正について
3月28日	2011年木材輸入実績

UNFF フォレストヒーロー 受賞記念講演会

海と共に生きる よみがえる海の生き物 復興へのメッセージ

4月3日、「畠山重篤氏
UNFF フォレストヒー
ロー受賞記念講演
会」(三井物産株式
会社、日本経
済新聞社クロ
スメディア営
業局共催)が、
日経ホール(渋谷区大
手町)で開催されまし



た。この講演会は、NPO法人「森は海の恋人」(宮城県気仙沼市)理事長 畠山重篤さんが、国連森林フォーラム(UNFF)から、森を守るため地道に独創的な活動をしている功労者「フォレストヒーローズ」として表彰されたことを記念して行われました。

畠山さんは講演の中で、牡蠣、帆立の養殖業のかたわら、養殖業を営む気仙沼湾に流れ込んでいる大川の上流での植樹活動のきっかけやこれまでの取り組みを紹介しながら、森、川、海を別々のものと考えず、ひとつにつながっていると考えていくことが大切だと訴えられていました。活動を通して、赤潮が発生する海となってしまった気仙沼湾が青い海に戻っていったことや、東日本大震災により生物がいなくなってしまった気仙沼湾が予想よりも早く回復しつつあることなどから、気仙沼に流れる川と背景の森林が健全であることが海の復興につながっていると述べられていました。

また、林野庁と水産庁の連携をより強くしてほしいこと、手入れが行き届いていない森林が多くあり間伐が必要なこと、そして環境教育として「心に森をつくる」ことの重要性も訴えられていました。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



本誌に使われている紙は、
日本の森林を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。